

貨車重量偏積測定装置の諸元および性能

本体の重量	約8t	感 量	400kg
主けたの長さ	1.5m	軸重記録感度	2.5mm/t
全 長	3.5m	偏積記録感度	5mm/t
全 幅	2.0m	記録紙送り速度	40~1.280mm/min 6段
全 高	約1.0m	列車速度制限	25km/h
ひょう量限度	20t		
耐 荷 限 度	30t		

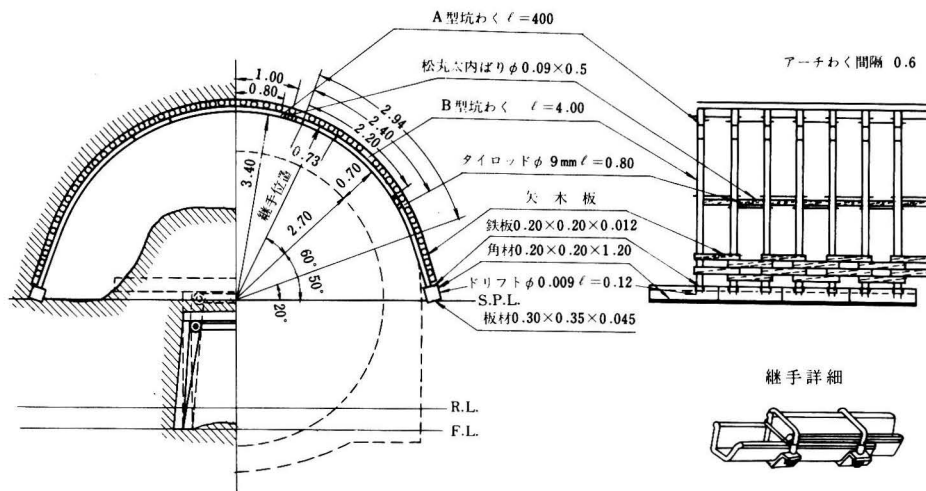
の発見を目的とした「貨車チェッカ」を試作中であつたので、これに偏積のチェック装置を追加して昭和39・3八戸線の鮫駅に新設して現在試用試験中である。(神保和夫)

かしゃのふご 貨車の符号 貨車を運用するための必要から、貨車に標記してある次のような符号。

(貨車の形式) (符 号)

- (1) 標記トン数が17tおよび15tと併記してある有がい車(ワム1900・ワム2000およびワム5000形式) オ(オワム)
- (2) 標記トン数が18tおよび15tと併記してある無がい車(トラ55000形式) ス(ストラ)
- (3) 標記トン数が17tおよび15tと併記してある無がい車(トラ23000・トラ25000・トラ35000・トラ40000およびトラ45000形式) コ(コトラ)
- (4) 天井水タンクのある冷蔵車(レ2900・レ7000および12000形式) テ(レ テ)

可縮支保工(半断面用)



- (5) 天井水タンクのない冷蔵車(レ5000およびレ6000形式) ナ(レ ナ)
- (6) 有がい車兼用の通風車(ツ2500および4000形式)および家畜車(カム1形式) ワ(ワカム)
- (7) 急行の表示ある有がい車(ワム60000およびワム80000形式) キ(キワム)

(笹 潤次)

かしゃのりゃくごう 貨車の略号 同一種類の貨車でも形式により標記トン数・寸法・構造等が多少異なる。これの内容を簡単に表現して貨車集配上の便をはかる必要から定めた略号をいい、日常業務に用いられているが貨車には標記されない。

(貨車の形式) (略 号)

- (1) 普通貨車の有がい車 ヤネ
- (2) 普通貨車の無がい車 ヤム
- (3) ワム80000形式有がい車(パレット輸送用貨車) パワム
- (4) トラ6000およびトラ30000形式無がい車 (大形トラ) オトラ
- (5) チキ300形式長物車(小形のチキ) コチキ
- (6) チキ1000・1500・2500・2600・2700・3000および4000形式長物車(大形のチキ) オチキ
- (7) チキ300・2600・3000および4000形式長物車(木製板張り長物車) イタチキ
- (8) ワフ21000および22000形式有がい緩急車(2t積み緩急車) ニワフ
- (9) ワフ2500・2800・29000・29500および35000形式有がい緩急車(5~8t積み緩急車) オワフ

(笹 潤次)

かしゃくしほごう 可縮支保工 可縮支保工とは、地圧が強大で膨張性の地質のずい道工事に使用される支保工である。掘さく中の地圧に対して、掘さく断面を縮小させることにより、地山の岩石を自立させ、支保工に作用する地圧を軽減させる。支保工に可縮性を与えるため、V型鋼などを使用し、支保工継手が地圧により、スライドする構造の可縮継手を使用する。炭坑では広く用いられているが、鉄道ずい道工事では、まれにしか使用されず、富内線の日振ずい道(延長1,059m)では、じゃもん(蛇紋)岩の膨張圧に対抗させるため使用された。

(藤井 浩)

がせんちゅういとう 架線注意燈 *自動列車制御装置の地上進路、または地上信号機の進路内にき電区分境界のある場合で、*架線表示燈を設けることができないとき、連動制御盤上、き電区分境界付近に設けられているもので、き電区分境界前方が停電のとき橙黄色燈が点燈する。(松尾 絵)

がせんひょうじとう 架線表示燈 連動装置に関係するき電区分境界の進入側が異相のとき、または前方区間が停電のとき、白色燈が点燈し、関係進路のこを反位としても、*自動列車制御装置の進路に70信号以上の信号を、また地上信号機に進行信号を、いずれも現示しない装置となっており、連動制